

令和5(2023)年度 児童館事業年間活動報告書

嵯峨児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子 ど も 育 成 機 能	(3) 大そうじ	1		21	1	1						23	気持ちよく新年を迎えるため、分担して児童館をきれいにする。	学童クラブ児童・来館児童と一緒に、掃除場所を分担して行った。雑巾がけや掃き掃除、遊具の整理など協力してきれいにしようという気持ちで丁寧に行った。	
	(7) 中高生タイム	毎日					127					127	夕方からの中高生の利用。	中学生は学校で卓球部が無いこともあり、複数人で卓球を楽しむため利用する。職員との会話も気軽にでき、中学校などの様子も知ることができる。	
	(2) むかしあそび	1	2	27	3			2					34	昔あそびをみんなで楽しむ。	お正月のあそびを知るとともに、各ゲーム備品を大きく作ったので、迫力も出て全員で楽しむことができた。
	(2) あそぼうDayマンカラ	1		1	12								13	日常的には使用していない4人用のマンカラを出し、マンカラに触れるきっかけ作りとする。	マンカラのルールは覚えやすく知っているが、4人用が珍しく実際にやってみる子や見学する子もいて、楽しんでた、
	(3) エコの日	12		3	304								324	エコについて考える。子どもたちが楽しんで取り組めるような内容とする。	エコ工作、ごみの分別など、日常の中での身近なエコ活動や、役に立つエコ工作などいろんな形でエコについて学ぶことができた。
	(3) 避難訓練	11	2	2	296	8	17		2				327	児童館でもしもの事態が発生した場合に備えて、どのように行動すればいいのかをみんなで学ぶ。	避難経路の確認や、火事・地震の際の行動について、実際に行った。消防署の方に訓練の様子を見ていただいた。いただいた指導や助言を今後の訓練に活かしていきたい。
	(2) あそぼうDayトランポリン	12	3	5	179	5	12		3				207	普段出していない遊具を月1回出し、その遊びに挑戦し、その遊びの楽しさを知る機会とする。	幼児から小学生まで楽しめる遊具で、毎回、楽しみにしていた。
	(4) 将棋クラブ	11		28	16					2			46	「将棋」を身近なものとして楽しみ、目標を持って継続的に取り組む。 将棋を通して礼儀やマナーを覚える。 地域の団体、ボランティア等の協力や参画を得て取り組み、世代間交流を図る。	小学生時代に将棋クラブに入っていた高校生が、自分たちも地域の方に教えてもらって嬉しかったからと、夏休みに小学生に教えに来てくれた。登録メンバーが昨年度から引き続き登録している子たちばかりだったので、新規の登録者がいらず、将棋の面白さを知ってもらえる機会となっていないことが課題。
	(2) あそぼうDay紙コップタワー	1		14		1							15	普段は使用しない紙コップを使い、積み上げて高さを競う遊びをする。	最初は、うまく積み重なったが、何度もチャレンジして記録を伸ばすなど、盛り上がっていた。
	(4) おりがみクラブ	11		38	8	19							65	毎月テーマを決めて作品を作ることで達成感や自信を持つ事ができた。じどうかんまつりでは、クラブとして作品展示も行った。	最初は、自分で折り上げられなかった子も、回を重ねるごとに教え合ったり、自分でやってみることで達成感や自信を持つ事ができた。じどうかんまつりでは、クラブとして作品展示も行った。
(3) 陶芸教室	2		11	6	6			6				29	土に触れる経験をし、土の感触を感じ楽しみ、自分で考えたものを作り上げる楽しさを味わう。自分で作ったものを大切に、使う喜びを知る。	自分で考えたデザインを粘土で再現することに集中して取り組んでいた。焼きあがったお皿をみて親子で喜ぶ姿も見られた。	

子ども育成基盤活動

(4) きりえクラブ	12			7	3		7					17	個人の技術力に合わせて初級から上級までのきりえに継続的に取り組み、技術の向上を図る。	個人の技術に合わせて段階を踏んできりえをしてもらうことで上達していき、自信に繋がった。
(4) Smileクラブ	12				56							56	社会性や自主性を養うことを目的に、自分たちで活動の計画を行い、実施する。	子どもたちが意見を出し合い、活動の内容を決めて取り組むことができた。その一方で、回数を重ねるごとに出席する児童の数が減り、取組が成立しないときもあった。また、取組準備については、時間不足もあり子ども主体にならなかった場面もあった。子ども主体での計画・実行・振り返りの流れを意識して取り組む必要がある。
(2) あそぼうDay卓球	12		8	118	17	19	11	1				174	普段出していない遊具を月1回出し、その遊びに挑戦し、その遊びの楽しさを知る機会とする。	小学生以上が対象で、小学生も中学生も交じって一緒に卓球をし、上級生が下級生に打ち方を教える場面も見られた。
(2) あそぼうDay将棋	10		3	52	2	13						70	普段しない遊びにも挑戦し、その遊びの楽しさを知り、遊びの幅を広げる機会とする。	将棋でもいろいろな遊び方を学ぶ機会になり、本将棋を知っている子が知らない子に教える姿も見られた。
(2) けん玉週間	33	1	7	201		7		1				217	けん玉の時間に取組んだ成果を発揮し、自分の力を試す機会とする。また、検定を励みとし、今後の意欲へとつなげる。	個人のペースで練習し、検定を受けて合格することで、次の技に挑戦する意欲が見られた。また、けん玉が得意な子ができない子に技のコツを教え、一緒に練習する姿も見られた。
(2) こま週間	22	1	10	202	2	18		1				234	こまに取組んだ成果を発揮し、自分の力を試す機会とする。また、検定を励みとし、今後の意欲へとつなげる。	こま回しを楽しんでいる姿を見て、初めての子も挑戦する姿が見られた。また、初めての子に紐の巻き方やまわし方のコツを教える姿も見られ、できる子の技を見て、練習する姿も見られた。
(7) おみせやさんごっこ実行委員会	3				4	11						15	おみせやさんの実行委員として、駄菓子選びや店の担当についての話し合い、準備や当日の運営を行った。	準備は実行委員で相談し、担当を決めた。当日も、それぞれの担当のお店で呼び込みをしたり、おすそめを伝えたり、計算をしてあげるなどお世話をする姿が見られた。
(3) おみせやさんごっこ	1		8	37	5	7						57	自分で選んで買い物をする楽しさ、計算力を身につける。	おやつ選びに時間がかかったり、同じものを何個も買う等の姿が見られたが、買い物自体は楽しんでいた。お金の計算は1年生では難しく、過不足が生じても使い切ることが難しかった。スムーズに買い物を楽しむ工夫は必要だ。

子ども育成活動機能

(3) さがじどうかん 子どもまつり	1	10	9	6	4					14	43	児童館のお誕生日と位置づけて実施するとともに、地域の皆さんに児童館を知ってもらおう一つのきっかけとする。	学童クラブ土曜日利用児童・Smileクラブの子どもたちに当日の準備・運営してもらった。子どもたちが主体となり、あそびコーナーを担当した。あそびコーナーは記録を更新して、ホワイトボードに記入する形にしたため、何度もあそびを楽しむ子どもたちの姿が見られた。また、乳幼児親子の参加もあり、普段は関わらない小学生以上と乳幼児親子が関わる機会となった。事前周知が足りず、当日の来館人数は少なかった。次年度はポスターやおたよりなどで事前周知をおこない、より多く参加していただき多世代の交流ができるようにする。また、子ども主体のじどうかんまつりにするため、学童クラブ児童には事前に声掛けをして、準備に積極的に携わってもらうことで当日の参加につながるようにする。
(3) 京象嵌をつくろう	1	2	9	8	10	1				8	38	京象嵌の職人の方にお越しいただき、制作体験を通して、京都の伝統工芸について楽しく学ぶ。	難しい作業だったが、子どもたちは講師の話をしっかり聞き、作業に集中して取り組んでいた。また、講師への質問を積極的にに行い、貴重な体験ができた。
(7) クリスマスだから みんなであそぼう会 実行委員会	3				4	8					12	「クリスマス会だからみんなであそぼう会」に向けてプログラムを実行委員で考え、当日の進行も行う。	実行委員は高学年を対象としており、全員が集まる日程調整をみんなで行い、揃って委員会をできるように協力してくれた。また、当日の進行も、参加者が楽しめるようがんばってしてくれた。
(3) クリスマス会だから みんなであそぼう会	1		3	33	4	2					42	高学年児童を中心とした実行委員会で企画・実施し、行事を責任をもって作り上げる達成感や喜びを感じる。自由来館児童と学童クラブ児童が交流する機会とする。	実行委員が当日の準備から進行、片付けまで、責任を持って進めてくれた。実行委員にとっては、自分たちの手で一つの行事を作り上げる達成感を味わえた。参加した子どもたちも楽しんでいた。
(2) つくってみよう 「ブラバン」	5		2	44	3	7					56	最後まで根気よくていねいに作り、作ることの楽しさや、仕上げた時の喜びを味わう。	好きな絵をブラバンに描き、焼く時にブラバンが変化する様子を見て楽しんでいた。完成させたブラバンを家族にプレゼントするという子もいた。
(2) つくってみよう 「牛乳パックごま」	3	1		29	1	3				1	35	制作を通して達成感を味わうとともに、よくまわる遊び方を工夫し、遊ぶ楽しさを知る。	思い思いに牛乳パックに色を塗り、回した時の色の変化を楽しんでいた。また、よく回るように工夫する姿も見られた。
(2) オセロ・将棋週間	5		1	68		6					75	オセロ・将棋のルールを覚え、楽しさを知るとともにマナーを身につける。オセロ・将棋への意欲や興味を持たせ、日常の遊びへとつなげる。週間の後に行う、オセロ・将棋大会への意欲を高める。	日常の遊びでオセロや将棋になじみのなかった子も積極的に参加し、学年問わず交流している様子が見られた。楽しみながらもルールを守ってきちんと対戦できていた。たくさんの子が参加してくれたが、週間中、全く参加していない子もいたので、挑戦してみようかなと思える声掛けや工夫が必要。
(3) オセロ・将棋大会	1		4	3	1					1	9	オセロ・将棋週間に取り組んだ成果を発揮し、他の児童と対戦・対局する。	参加人数は少なかったが、各自が集中して対戦できていた。勝っても負けても最後まで頑張ることができた。もっとたくさん参加してもらえよう、オセロ・将棋の楽しさを伝えることが必要。

子 ど も 育 成 機 能		(2) みんなでドッジボールをしてあそぼう!	1	1	5	4							10	普段できないあそびをみんなで楽しむ。	学年を超えて一緒に遊ぶことができた。また、高学年が低学年に配慮する姿も見られた。	
		合 計	189	23	157	1695	158	150	145	40	2	0	0	2370		
	推 進 活 動	(10) 幼児クラブ「太秦広隆寺へお出かけ」	1	13						12				26	幼児クラブでお出かけをした際、そこに来られていた乳幼児親子さんにおたよりを配り、児童館を知ってもらった。	初めて児童館を知った親御さんもあった。出向く機会があれば宣伝すべきと改めて感じた。
		合 計	1	13	0	0	0	0	0	12	0	0	0	26		
	子ども育成機能 合 計		190	36	157	1695	158	150	145	52	2	0	0	2396		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和5(2023)年度 児童館事業年間活動報告書 (嵯峨) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数									合計	内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生				大人
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	②あそびの広場	23	64								64	128	おもちゃや遊具を出して、自由に遊んで過ごしてもらう。最後に体操とカード返しをする。	保護者同士、子育てに関する情報交換をしたり、日頃の悩みなどを話したりと保護者のリフレッシュの場にもなっていた。	
	②あかちゃん広場	32	66								66	132	おもちゃで自由に遊んでもらう。保護者同士、交流をしてもらう。	ふわふわクラブ終了後に設定していたため、クラブ終了後に残って遊ぶ方が多かった。また、赤ちゃん広場目的に来館される方もいた。	
	②のびのびタイム	32	153								136	289	自由に児童館で遊んでもらう。	幼児クラブや広場がない日でも自由に来て遊んでもらう日と設定。クラブ以外で知り合う機会にもなっていた。	
	②ばんだ広場	12	65								61	126	はぐくみ室、児童館学童連盟と協力・連携をして実施。子どもたちが遊んでいる様子を見てもらいながら、子育てや発達について相談できる場を提供する。月1回実施。	ばんだ広場を右京区役所子どもはぐくみ室から紹介されて相談に来られた方もおられた。児童館と関係機関とがしっかりと連絡を取り合い、支援につなげていきたい。	
	①ふわふわクラブ	27	131								130	261	登録制のクラブ。0歳児対象。体操や設定遊びをする。	回を追うごとに登録者が増えた。同じ月齢の子が多く、保護者同士が繋がるきっかけとなった。	
	①おひさまクラブ	28	234						6	230	470	登録制のクラブ。1歳児対象。体操や設定遊びをする。	1歳の誕生日を迎えたら、ふわふわクラブからおひさまクラブに上がるかどうかを保護者に決めていただいた。おひさまクラブに上がられる方が多く、また、途中で新規登録される方も多く、登録者数が年間通して増えていった。顔見知りの方も多く、保護者同士の繋がりもできた。年度後半になると子どもも成長し、子ども同士の関わりが見られることも多くなった。		
	①にこにこクラブ	28	151						6	114	271	登録制のクラブ。2歳児以上対象。体操や設定遊びをする	2歳の誕生日を迎えたら、おひさまクラブからにこにこクラブに上がるかどうかを保護者に決めていただいていたが、曜日が変わることや、おひさまクラブとの内容にあまり差がないということで上がられる方はほぼいなかった。元々の登録者数も少なかったため、幼児クラブの年齢設定と内容を見直すことが必要。		

子ども家庭支援活動	②だっこしてギュー!	2	9					30	9			48	高校生と赤ちゃんとのふれあい・交流を目的とし、北嵯峨高校と連携し、年に2回実施。高校生による手遊びや絵本の読み聞かせ、自由あそびの中での高校生と乳幼児親子の交流をする。	1回目は事前の周知が不十分だったため、参加者が少なかった。1回目は乳幼児と関わることに不慣れだった高校生も、2回目には乳幼児さんと積極的に関わったり、お母さんと子育てについてフリートークのような形で話す様子が見られた。		
	(2) イオン子育てほっと広場	2	6						6			12	右京区にあるイオンの一角を借り、イオンに来られる乳幼児親子向けの工作などをする。	児童館がある地域からは離れていて、行きにくいこともあり、自館を利用されている乳幼児親子の参加は少なかったが、右京区の児童館の活動を周知する良い機会となった。工作も喜ばれた。		
	(2) 子育て講座	2	10						12			22	乳幼児の母親が安心して楽しく子育てをできるように、様々な知識や技術を身につける機会として、1回目は右京区役所はぐくみ室の保健師による「夏の過ごし方」、2回目はえほん館代表花田氏による「絵本を楽しもう」を実施する。	1回目は、当日の欠席が多く参加者が少なかったが、その分、個別の質問や相談に答えてもらうことができた。 2回目は、絵本の楽しみ方だけでなく、子どもへの向き合い方なども交えて話していただいた。親子共に絵本を楽しんでおられた。		
	(2) わくわくキッズランド	1	17	2					20		4	43	乳幼児向けのおまつりとして実施。嵐山民生児童委員協議会にあそびコーナーの1つをもってもらい、服のリユースコーナーでは西部まち美化事務所から服を提供してもらう。	土曜日に開催したことで、平日にはなかなか来られないお父さんも一緒に家族で参加される方が多かった。		
	(2) サンサにこにこ広場	1	4						4			8	右京区民生児童委員協議会が中心となり、右京区の児童館などが集まって乳幼児親子向けのイベントを実施。児童館はあそびコーナーを担当。	たくさんの乳幼児親子が来場され、楽しんで過ごされていた。		
	(2) クリスマス会	1	18						15			33	乳幼児親子を対象にしたクリスマスを楽しむ取組を実施。季節にあわせた手遊びや絵本の読み聞かせをする。	キャンセルの親子もおられたが、来られた親子は楽しんでいった。学童さんの作ってくれた折り紙の飾りは好評であった。ブラックライトをの際に部屋の照明を落としたが、怖がる子どもさんもおらず、一緒に楽しむことができた。		
	合計	191	928	2	0	0	0	42	867	0	0	4	1843			
子ども家庭	(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等		件数
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	15 26 1 70 1 13	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 他児童館				115 8 3	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他				81 4 41	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 他児童館		15 2
		件数計	126	-				126	-				126	-		17

庭 支 援		(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容	育成・支援内容	成果と課題
活 動	推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容	成 果 と 課 題	
			「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換え	毎日	地域の子育て家庭の保護者が持参した京都市発行の無料引換券を京都市家庭ごみ有料指定袋と引き換える。	引換えのために来館された際、児童館だよりを渡して利用につなげることができた。	

(令和5) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(嵯 峨) 児 童 館

地域	基	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主催	参加人数					連携団体	成果と課題			
						乳幼児	小1～3年		小4～6年				中高生	大人	合計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
			Pingpong	22	嵯峨児童館						54	54		継続的に地域の利用者が卓球を楽しまれたが、毎度固定の方しか来られなかった。	
			らんらんサロン	10	嵐山民生児童委員協議会	77					109	186	嵐山民生児童委員協議会	様々な取り組みを企画してくださり継続的に参加人数が多かった。	
			右京ブロック児童館まつり	1	京都市児童館学童連盟・右京ブロック児童館まつり2024実行委員会	2	9	8	3	1	13	36	京都市右京ふれあい文化会館	右京区内の15の児童館が集まり、あそびコーナーやステージ発表を楽しんだ。	
			右京ブロックあそび交流会	1	右京ブロック児童館施設長会							4		右京区内15の児童館の子どもたちが集まり、オセロ・将棋の交流戦を楽しんだ。	
			さがサロン	2	嵯峨民生児童委員協議会	15					26	41	嵯峨民生児童委員協議会	年2回、児童館職員が嵯峨小学校で実施されるサロンに赴き、手遊びや読み聞かせを楽しんでもらった。	
			認知症サポーター講座	1	嵐山地域包括支援センター				36	2		38	嵐山地域包括支援センター	嵐山地域包括支援センターの職員の方に来ていただき、子どもたちに認知症について分かりやすく説明していただいた。	
			移動動物園	1	嵯峨児童館	90	1				103	195	嵯峨民生児童委員協議会・健光園嵯峨ひかり広場	土曜日開催のため、家族で参加される方多かった。	
			右京ブロックドッジボール交流会	1	右京ブロック児童館施設長会				9					右京ブロック交流行事として、ドッジボール大会に参加する。普段は交流しない子どもたちとドッジボールし、良い交流の機会となった。	
			合計	39	—	184	11	56	4	3	0	305	554		
福祉	本	(2) ボランティア活動の推進	活動内容		活動人数				成果と課題						
					中高生	大学生	大人	合計							
			近畿高等看護専門学校	地域を知るためのボランティア活動					4					4	近畿高等看護専門学校から4人の専門学生が来館する。学童クラブの子どもたちと積極的に関わってくださり、交流の機会となった。
				あそびのボランティア	8									8	高校生が遊びのボランティアとして活動。交流の機会となった。
			合計	8	4	0	12								

機能	動	(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容	成果と課題
			嵯峨民生児童委員協議会	さが子育てほっとサロンに定期的に出向き、ふれあいあそびや絵本の読み聞かせを実施。毎月1回児童館だよりの配布をおこなう。	さが子育てほっとサロンに出向き、関わった乳幼児親子さんがその後児童館へ継続的に来てくれるようになった。
			嵐山民生児童委員協議会	嵯峨児童館で実施する「らんらんサロン」において、ふれあいあそびや絵本の読み聞かせを実施。毎月1回児童館だよりの配布をおこなう。	乳幼児クラブで宣伝をすることで参加者が増えた。また、らんらんサロンへの参加から、児童館の継続的な利用につながる乳幼児親子もいた。
			右京区内の児童館	右京ブロック交流行事への参加・協力。	右京ブロック交流行事として、右京ブロック児童館まつりやあそび交流会の参加。
			右京消防署嵯峨出張所	避難訓練の実施を依頼をした。また乳幼児クラブでの消防署見学を実施。	避難訓練では、消火器の使い方や火事の際の逃げ方について指導していただく。乳幼児クラブの消防署見学では消防車の試乗や乳幼児の事故防止の話をしていただいた。
			右京中央老人福祉センター	毎月1回児童館だよりの配布をおこなう。10月頃に壁面作品を渡し、飾っていた。	児童館から秋の壁面作品を渡し、右京中央老人福祉センターからはハロウィンの折り紙作品をいただき、交流の機会となった。
			右京区子どもはぐくみ室	乳幼児向けの子育て講座の講師依頼をする。また月に1回のばんだ広場で職員にきていただく。地域の子育て支援の情報を共有する。	子育て講座では夏の過ごし方についてお話いただいた。ばんだ広場では嵐山学区担当の職員の方に来ていただき、子育て支援の情報共有をすることができた。
			嵐山小学校	入学式・卒業式への出席。児童館だよりを全校生徒へ配布する。定期的に児童の様子を情報共有する。	児童館だよりを全校生徒に配布してもらうことにより、学童クラブ児童以外の小学生の児童館事業への参加が多数あった。定期的に児童の情報共有をすることができた。
			嵯峨小学校	月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			嵐山自治連合会	児童館だよりの地域掲示板への掲示依頼をする。また、嵐山学区の秋まつりに参加。	秋まつりでは、あそびコーナーを担当し、児童館の存在を知ってもらいきっかけとなった。
			嵯峨体育振興会	月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			嵯峨交通安全推進委員会	月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			右京少年補導委員会嵯峨支部	月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			嵯峨ひかり広場	移動動物園を共催する。月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			嵯峨自治連合会	月に1回児童館だよりの地域回覧を依頼する。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			嵐山学区社会福祉協議会	月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			嵐山体育振興会	月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。
			嵐山交通安全推進会	交通安全教室への協力を依頼する。月に1回児童館だよりの配布をおこなう。	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。交通安全教室では、嵐山小学校から児童館への帰館ルートで気をつける箇所を指導していただいた。
			右京警察署	交通安全教室や乳幼児クラブのセーフティで講師依頼をする。	交通安全教室では、音楽を用いて安全への指導をしていただき子どもが楽しみながら学ぶことができるいい機会となった。セーフティではわらべうたやおもちゃを用いて保護者向けに気をつけることをお話していただいた。

地域福祉促進	基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題		
			児童クラブ保護者会		児童クラブ保護者		総会1回 役員会2回		役員選出・予算立て 活動計画・行事企画 他行事への協力		主だった活動がなく、「お弁当いらないデー」や「クリスマス」のおやつなどを購入し、提供された。年度末に今後の存続について保護者にアンケートを実施され、今年度限りで廃止すると決定された。		
			運営協力会		嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館学童クラブ保護者会		年2回		年間の活動計画及び活動報告 地域の情報共有		児童館の事業内容を報告し、理解や協力を得て連携し合うことができている。今後も引き続き運営協力会での地域の情報交換や共有を行っていく。		
			ネットワーク会議		嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館学童クラブ保護者会、嵯峨こぼと保育園、まこと幼児園、うぐいす保育園、若竹保育園		年2回		年間の活動計画及び活動報告 地域の情報共有、活動の協力		児童館の事業内容を報告し、理解や協力を得て連携し合うことができている。今後も引き続き地域の情報交換や共有を行っていく。		
機能推進活動	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等			使用目的			提供先（団体・機関等）		成果と課題			
		嵐山らんらんサロン			嵐山民生児童委員協議会主催の子育てサロンとの連携を図り支援を行う。 地域住民に児童館を知ってもらい、今後の利用につなげる。			嵐山民生児童委員協議会		毎回、協議会の皆さんともよい連携が取れていてよい関係づくりができている。サロンで児童館に初めて来られた方も、その後の利用につながっている。			
	(6)地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題	
		児童館利用者共通アンケート		児童館運営に対する意識調査・児童館運営の参考にするため		児童館利用者 (小学生・中高生・保護者)		京都市社会福祉協議会 児童館		児童は利用時に記入してもらい回収。保護者には配付やウェブから回答できるようにした。結果はおたよりに掲載し公表した。		利用児童・乳幼児の保護者にはウェブでの回答は手軽ではあるものの、その場で回答してもらわなかったため、回答率が下がってしまった。しっかりと利用者のニーズや思いを知る大切な機会として、丁寧に呼びかけ回答をいただく。	
乳幼児クラブアンケート (ふわふわ／おひさま／にこにこ)		母親の感想や希望調査・次年度の運営の参考のため		乳幼児クラブ登録保護者		児童館		乳幼児クラブ最終回に配布し記入・回収。		保護者のクラブへの思いや要望などを知ることができた。次年度の事業計画を立てる際の参考となった。			
子育て講座アンケート		企画に対する意見や感想を知り、今後の企画の参考にするため		講座参加者		児童館		終了時にその場で記入・回収。		参加者の思いを知ることができ、次年度の企画を考える参考になった。			

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	さがじどうかんリーフレット	随時	新規利用者	来館者に配布	社会福祉協議会の行動指針と、嵯峨児童館の利用や行事の予定	初めて来館された利用者に児童館について知ってもらうために活用する。
	じどうかんだより	月1回	児童、嵯峨・嵐山区地域住民や保育園・幼稚園、嵯峨・嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、乳幼児クラブ登録者、右京子どもはぐくみ室、右京中央老人福祉センター、嵯峨ひかり広場など	【おたより】来館者に配布、地域回覧、嵐山小学校に全校配布、はぐくみ室・老人福祉センターに置いてもらう、ホームページに掲載 【ポスター】児童館、地域掲示板に掲示	月の行事予定 毎月の行事報告	嵐山小学校への全校配布は目を通してもらいやすい。ホームページにも載せているので、他学区の利用者も確認でき、来館された。
	乳幼児クラブしおり (ふわふわクラブ・おひさまクラブ・にこにこクラブ)	年1回	乳幼児クラブ登録者	クラブ登録者に配布	クラブの進め方、約束など	乳幼児クラブの流れや約束事などについて記載。
	乳幼児クラブ 毎月の予定	毎月1階	乳幼児クラブ登録者	クラブ登録者に配布	各クラブの翌月の予定。	内容や持ち物等について、伝えることで保護者に見通しを持ってもらえた。
	学童クラブ入会のしおり	年1回	学童クラブ登録家庭	全家庭に配布	学童クラブの約束など	学童クラブ登録家庭には配付。新しく学童クラブへ入会される際には、しおりに基に丁寧に説明を行うことができ、学童での生活のイメージを持ってもらうことができた。
	学童クラブだより さがFriends	毎月1回	学童クラブ登録者	全課程にウェブにて配信	学童クラブの活動報告	学童クラブの予定、子どもたちの様子、連絡事項等毎月の活動報告。ウェブ配信にて発行することでペーパーレス化でき、保護者にも見ていただきやすい。